

# 北上市PTA連合会報

第41号

一発行日一  
令和2年  
(2020年)  
2月21日

発行：北上市PTA連合会

企画編集：広報委員会

印刷：北上アビリティセンター



**子ども食堂**  
**キッチンすまいる**

◎2019年10月～12月15日(毎月第3週金曜日)に実施!

会場	10月	11月	12月	時間
黒沢尻北交流センター	10月4日	11月29日	12月6日	16:00～19:00
黒沢尻東交流センター	10月25日	11月19日	12月13日	16:00～19:00
黒沢尻西交流センター	10月18日	11月12日	12月2日	16:00～19:00

◎参加費 どもも連立費以下千巻 共々100円

◎定員 各回30名

※参加は、どもも食堂キッチンすまいるは、無料のイベントには対応していません。  
※参加には北上市外からの参加費の徴収が予定されています。

**体験企画**

**『粘土でつくる』夢灯りに挑戦しよう!**

◎日時 毎月15日(日) 16:00～19:00

◎会場 黒沢尻北交流センター

◎参加費 1,000円(材料費以下)

◎参加申し込みは、下記「お問い合わせ」先まで(申込締切14日前)



## 子ども食堂「キッチンすまいる」

子ども食堂「キッチンすまいる」は、こどもの孤食解消と居場所づくりを目的として、昨年7月に市内3カ所で開設されました。さまざまな年代の子ども達が気軽に集まり、手作りの食事を一緒に食べたり、遊んだり、勉強したりすることができる、居心地の良い空間の提供を目指しています。代表の菊池洋子さんは、「一人でも多くの子ども達に食事を提供し健やかな成長を支援したい」と願っています。黒沢尻北交流センター、黒沢尻東交流センター、黒沢尻西交流センターの各交流センターで月1回のペースで開催されている子ども食堂「キッチンすまいる」文字通り子ども達の笑顔があふれる安心して過ごせる居場所になってほしいです。

<b>目次</b>	□特集 「交通安全」……………P 2	□母親委員会の活動……………P 6
	□PTA紹介 照岡小学校 江釣子小学校……………P 3	□研修委員会の活動……………P 7
	北上中学校 東陵中学校……………P 4	□研究大会参加の報告……………P 7
	和賀東中学校 黒沢尻東小学校……………P 5	□市P連会長あいさつ・編集後記……………P 8
	黒沢尻北小学校……………P 6	



## 特集 交通安全 ～見守りから身守りの時代へ～

北上市PTA連合会 広報委員会

### 交通事故の悲しみ

年々、交通量が増え続けている北上市。県内の事故状況は減少してきているのに北上市は増加傾向にあります。危険が多いこの環境、時代に子ども達は対応していかなくてはなりません。しかし、その為に命が犠牲になるという事は決してあってはならないのです。

2018年12月17日下校時間、市内小学2年生児童が青信号横断中に大型トラックに巻き込まれて命を落とすという悲しい事故が起きました。目の前で直視した児童もいました。もうすぐ冬休みだったのに、クリスマスも近かったのに、まだ8歳の命が失われたのです。事故現場には今でも花が供えられています。その小学校では月命日を安全の日、として忘れないようにしていますが、当時、北上市の一体どれだけの保護者がその事故に目を向けたことでしょうか？

「怖い」「可哀想」「災難」その様な言葉をよく耳にしますが、他人事ではないのです。いつもの下校時間。いつもの通り道。いつもの光景の中で事故は起きました。当然の事ながら、事故は起こす側も起こされる側も望んではいません。突然訪れるものなのです。

### 指導は？どこまで見守りすれば？

学校や家庭でも交通安全の指導はされている事でしょう。では車への指導は？そうなんです。子ども達だけが気を付けていても事故は起きてしまうのです。

それらを未然に防ぐ為に各地域にはボランティア団体や交通安全指導隊などがあり、市から任命され活動しています。大雨の日も吹雪の日も子ども達を見守って頂いており、学校や保護者からは大変有難い存在です。しかし、そこにも疑問を感じる事があります。

一度、各団体の交通安全に関わるマニュアルを拝見する機会がありました。作成されたのが10年以上も前のもので全く改正されていない当時のままでした。当時と現在では交通量が圧倒的に違います。昔のマニュアル通りに指導すると運転手も歩行者も困惑してしまいます。今から記載する件につきましては様々な意見を頂いていますが、例えば横断歩道で子どもを横断させる際には大人は道に出るはならない、という決まりがあります。理由を尋ねると、もし車が横断歩道に突っ込んできたら大人も巻き込まれてしまうから、との回答を頂きました。しかし

考えると、その様な状況になった際、大人は目の前で子ども達が事故に遭うのを見ていないといけません。ある団体では信号付近に立つてはならない、という決まりがあるそうです。理由は事故が起きた際、信号付近にいた私たちの責任にもなるから、という回答でした。どちらの回答も間違っていないでしょう。マニュアルがその様になっているのですから。ただ親としては子ども達の安全を期待出来るものではありませんでした。ただ語弊があるといけませんので書かせて頂くと、どちらもボランティア団体です。我が子の事でもないのに子ども達の安全を考えて見守り活動を行って頂いています。これには感謝しなくてはなりません。求めている事は各団体、時代に添ったマニュアルを作成して活動を行って欲しいという事です。今年度、市議会でも事故が起きてから対策とる対症療法型から客観的データで事前に対策をとる科学的予防型への転換について議論されました。早めの実現を期待したいものです。



### 皆さんの力で！

私も2018年12月以降、事故現場に見守りとして微力ながら、登下校時に立たせて頂いています。毎日のように立っていると子ども達と互いに声を掛け合うようになります。そして顔や名前を覚えていきます。そうすると学校の行事等では子ども達から寄ってきて話し掛けてくれます。その時の笑顔を見ていると、この子ども達を二度と事故の被害に遭わせてはいけなないと、強い想いを持つことができます。

保護者の皆様、北上市は今までにない交通量になっています。今後も増え続けていくことでしょう。見て守るだけでは危険な時代になっていきます。身を守らなくてはいけない時代への変化が起きています。今一度、子ども達の安全を見つめ直しませんか？

# PTA紹介

## 元気・やる気・根気

照岡小学校は、北上市と奥州市の二つの市に学区がまたがっており、PTA活動も両地域の協力のものと進められています。

運動会では、江刺稲瀬の郷土芸能「佐野向神楽」を継承し、全校児童で発表しています。PTAが事前に着付けを教え合い、当日の発表を盛り上げます。



一方、学習発表会では北上稲瀬町の「門岡念仏剣舞」を披露しています。保存会が中心となって剣舞教室を開き、練習に励みます。その成果は地域行事でも披露されます。



これらの取組は二つの地域の歴史や文化に触れることができ、とても素晴らしい環境にあります。地域が二つあることは、活動も2倍になることでもあります。PTAは全面的に協力して子ども達の活動をサポートしています。

## 照岡小学校 PTA

照岡小の子ども達は、学校にいる時は進んで読書を行います。いつも時間を見つけて図書室に通います。それは図書室が大好きだからです。本の紹介、季節に合った装飾、丁寧に修理された本、きちんと整理された書架…図書ボランティアが一生懸命活動しています。また、定期的に行われる読み聞かせも子ども達の楽しみの一つです。楽しい話、悲しい話、元気になる話、心に深く残る話。子ども達は静かに、でもしっかり考えながら聞いています。様々な工夫をしながら子ども達に読書の楽しさと大切さを教えています。



「元気・やる気・根気」の照小三気のもと、子ども達もPTAも楽しく活動しています。活動参加率も毎回ほぼ100%です。PTAの関心の深さを感じられると思います。地域は二つでも一つの学校として互いの良さを認め合いながら子ども達の健やかな成長を願って活動しています。これからも学校や子ども達、そして地域のために貢献できるPTAでありたいと思います。

(照岡小学校PTA会長 高橋 竜一)

## 江小縁日・バザー

江釣子小学校では、学習発表会の後、2年に一度バザーを開催しております。

その中でバザーは大人向けのものが多く子ども達が楽しめるものがなかったことから、PTA企画立案の元、江小縁日(こうしょうえんにち)と銘打って3年前から毎年開催しております。(バザーのないときは縁日のみ)

初年度は初めての開催ということもあり子ども達が来てくれるか不安でしたが、たくさんの来場者に恵まれ大盛況に終わりました。

今年3年目を迎えましたが、あいにくの雨のため初めてピロティでの開催となりました。

わたあめ、玉こん、やきとり、フランクフルト、ジュース、スーパーボールすくい、くじ引き、型抜き、射的を用意していました。



## 江釣子小学校 PTA

雨の中、子ども達が来てくれるか心配をしましたが、こちらの不安をよそに多くの来場者にいただきました。

江小縁日が子ども達に浸透し、楽しみにしてもらえているんだなということを実感することができました。子ども達の楽しそうにしている顔を見ることができ、これからはずっと続く行事になってもらいたいなと思いました。

バザーにおいても各地区のPTA会員の皆さまにバザーの品を提供していただき、多くの来場者にいただきました。こちらでは運動着、今治タオルが人気商品でした。

これらの行事が開催できるのも役員の方々の御協力のおかげです。ありがとうございます。

(江釣子小学校PTA会長 菊池 隼)



## チームワークで子どもの未来を創る 北上中学校 PTA

北上中学校は「人格の完成・豊かな人間性・社会の発展に寄与する創造的実践人を育成する」という教育目標と「向上一路」を校是としています。また、PTAの活動目標も「家庭・地域・学校との行動連携「向上一路」としており、学校が目指す方向に大人たちが寄り添って活動を進めています。

この春、北上中の生徒は540人で出発しました。PTA会員も、先生方のご協力のもとに505世帯、揃って出発することが出来ました。大規模校のため学校生活は21の学級に分かれています。普段子ども達はたくさんの仲間と過ごしています。校舎内は「にぎやか」ですが、多少「過ぎた」行動の生徒には、先生方から毅然とした態度で指導が下っているようです。

そういった学校生活の様子について、生活や行事のアンケートの実施をしていただく事で学校と保護者の連携を図っています。学校は意見や要望をその後の指導に役立てていただいていますし、PTAの活動としても、各委員会の企画で教育的なものから学校を取り巻く環境の整備まで、要望をうまく利用した協力の仕方を実践しているところです。

部活動では、生徒全員が14の部に分かれて活動をしています。更に特設のラグビー・水泳・駅伝・合唱で活躍する「二刀流」を経験する子も多く、中にはその分野に興味が出たことで高校でも続けたいと思う生徒もいます。

運動会では、男子生徒による「鬼剣舞」女子生徒による「さんさ踊り」の披露があります。昭和31年から郷土芸能を運動会種目にして現在もその伝統

を受け継いでいます。300人ほどで踊りますが、その華やかさと荘厳さは毎年観る側を圧倒します。北桜祭では、大人数の観客を前にしての英語弁論、クラスごとの合唱、全校生徒で歌う素晴らしい「大地讃頌」を、また立志式では、2年生一人ひとりが「立志の決意」の言葉を色紙に書き、緊張しながらもステージに立ち、誓いとして発表してくれました。



年中、子ども達の成長する姿を見られることはとても幸せなことです。北上中PTAには、役員を引き受けてくれた130人を越える保護者がいます。何度となく学校に足を運び様々な活動を進めており、たくさんの協力が得られていると感じています。人間関係が希薄になりがちな現在ですが、先生方と子ども達が過ごす北上中学校を、地域を元気にするパワースポットにできるよう、保護者達も学校と連携し活動中です。

(北上中学校PTA会長 田山 理香)



## 良き伝統を引き継いで



1995年創立の黒岩・立花・口内・照岡学区から集まる生徒数86名の中学校です。歴史的・伝統的文化に恵まれた豊かな風土で、横町遺跡、樺山遺跡、極楽寺、毘沙門堂、市立博物館、みちのく民俗村など数々の遺跡、文化施設があります。

本校PTAには、学年委員長と地区委員会、専門委員会があります。専門委員会は、本年度から生徒数減による会員数減に対応して組織の改編を行い、これまでの教養と広報、厚生と生活指導の委員会をそれぞれ1つにあわせ、大きく2つの専門委員会を構成し子ども達の健全育成を第一に取り組んでいます。

## 東陵中学校 PTA

さて、東陵中学校の特色ある活動を2つ紹介します。1つ目は、東陵中学校に代々受け継がれる全校生徒による「東陵エアロビ」です。地域に伝わる伝統芸能や各部活動の動きを取り入れたオリジナルのエアロビで、新入生は入学してすぐに先輩から指導を受け、運動会などで披露されます。全校生徒が一体となって披露する姿はとても素晴らしく感動します。

2つ目は、合唱です。毎年の文化祭で学級、学年毎、そして全校で発表します。少人数とは思えないほどの響き、厚み、迫力があり、聴く度に感動します。

これらの取組が、これからも東陵中の伝統として続いていくことを願っています。

(東陵中学校PTA会長 平野 恵美)



## ちょっと気になる「黄色い腕章」 和賀東中学校 PTA

皆さんは和賀東中学校といえば、何を思い出しますか？40代以上の方は「オレンジジャージ!!」という方も多いかと思います。しかしオレンジジャージは残念ながら(?)現在では違う色となってしまいました。

私自身が通っていた30数年前の生徒も、今現在通学している在校生も変わらず東中生が身に着けているものがあります。それは生徒の左腕に輝く黄色い腕章です。それでは、この腕章はいったいどのような意味があるのかおわかりでしょうか？腕章には「交通安全宣言学校 和賀東中学校」と書かれております。和賀東中学校は45年前に起きた、生徒が亡くなる痛ましい交通事故をきっかけに、昭和50年に「交通安全指定校」の指定を受け、その指定校の印として黄色い腕章を左腕に身につけるようになりました。以来44年間、この腕章は入学式で新入生へ授与され、生徒一人一人が交通ルールとマナーを遵守すると共に、地区の交通安全の喚起に寄与してきました。そして余談となりますが、左腕の腕章を見ることで他校生と混ざっていても東中生だとわかる、目印としての側面も持ち合わせております。数年前には、修学旅行中、テーマパークへ入園する際、腕章をとめている安全ピンが安全じゃないとのことから外さざる負えない事例もあり腕章の代わりに、腕章のデザイン

を別の毎日使用するものに取り入れるといった動きがあり、現在の通学ザックが生まれました。今では腕章とともに東中生のシンボルとなっております。

正直、私が30数年前に在学していた頃は、毎朝身に着けるのが面倒くさかったり、夏服時にYシャツと一緒に洗濯してしまったり、いつの間にか失くしてしまっていたりと、腕章を身に着けることにいいイメージを持ってはおりませんでした。しかし、今回改めて子を持つ立場として考え直してみると、この腕章には通学時だけではなく普段の生活における、子ども達の交通安全を祈る親や先生方、そして地域の方々皆さんの気持ちが詰まっているものだという事が分かりました。在校生や今後入学してくる子ども達には、この腕章の意味を少しでも理解し交通安全の意識を高めてくれることを切に願います。

(和賀東中学校PTA会長 高橋 憲一)



## 第13回 東風まつり



今年度の東風まつりは10月5日(土)、児童や保護者をはじめ、多くの地域の皆さんに来校いただき盛大に開催されました。

川岸かっぱ太鼓によるオープニングから始まり、合唱・トランペット・バトン課外クラブの発表に加え、ダンスクラブ、川岸保育園園児によるかっぱ太鼓、小鳥崎さんさのステージ発表などがあり、体育館は多くの観客の皆さんで賑わいました。体育館後方では、豚汁、から揚げ、チュロス、ポップコーン、チョコバナナなどの販売飲食コーナー(東風カフェ)があり、たくさんの行列ができていました。また、屋外テントのおやじの会の出店では、

## 黒沢尻東小学校 PTA

フランクフルトやわたあめが販売され、午前中に売り切れとなるほど大人気でした。

校舎内では、おもちゃすくいや輪投げ&的あての子どもコーナーや北上地区電気工事協同組合様のご協力をいただいたLED工作教室、毎年恒例のバザーが行われ、10時から14時までたくさんの方で賑わいました。

平成19年に始まった東風まつり。普通のバザーだけではなく、子どもも地域の大人も楽しめる祭りのようなイベントにしたいという願いで始まりましたが、いろいろな工夫を重ねて受け継がれ、PTA最大の行事として定着しています。売上金は児童の活動費や学校の備品などに使われます。

(黒沢尻東小学校PTA会長 高橋 隆史)



## 更なる飛躍を～黒沢尻北小学校創立40周年～ 黒沢尻北小学校 PTA

黒沢尻北小学校は令和元年度創立40周年を迎えました。

記念事業の環境整備では低学年棟の中庭を改修しました。コンクリートブロックで敷き詰められていた中庭は、鮮やかなブルーを基調としたクッションフロアのスペース「あおいろ広場」に生まれ変わり、子ども達がケガを気にせず元気に遊べるようになりました。



記念事業のイベントでは、「地球星歌」で有名な音楽家のアクアマリン・ミマスさんに依頼をし、全校児童や保護者から募集した歌詞をもとに「40周年記念愛唱歌」を制作していただきました。完成した楽曲は、11月の記念式典で全校合唱を行い、お披露目されました。



記念式典は11月2日、来賓・旧職員・卒業生代表を含め全体で約1,000人が体育館

に集い、40年という節目の日を祝いました。式の中では30周年事業のタイムレターを受け取った本校卒業生3名が10年前の自分を振り返りながら近況を報告し、新たな決意を発表する場もあり、和やかな雰囲気ですべてを終えることができました。

40周年という大きな節目を迎え、様々なイベント等を行うこと通して、黒沢尻北小学校に対する、諸先輩方や地域の方々の大きな期待や熱い思いを実感することができました。我々PTA役員も次の10年に向け更なる飛躍に向け決意を新たにすることができました。

(黒沢尻北小学校PTA会長 小野寺 拓)



## 令和元年度 北上市PTA連合会母親委員会の活動

今年度の第1回北上市PTA連合会理事会での会長あいさつの中に、子ども達の命を守る事、未来を豊かにできるよう、大人の本気を見せましょうというお話がありました。それを受け、母親委員会でも話し合い、1回目の研修会では「子ども達の安全安心について保護者として心がけること」と題して北上警察署生活安全課の方に講話をいただきました。具体的な事例をまじえて、岩手県内で今の様な危険があるかを教えていただき、政府より出された登下校防犯プランをもとに北上警察署でも取り組んでいることを知りました。「保護者や地域の方の、通勤しながら、散歩しながらの『ながら見守り』があると、多くの目で登下校を見守る事ができます。少しでも何か変と思った事は、こんな事を言っても良いのかと思わず警察に情報を提供していただければパトロールを強化します。」と、私達にもできる対策を教えてくださいました。

2回目の研修会では、西部学校給食センターで、所長と栄養士の方から説明をいただきました。今年度末は、①新しい給食センター開設、②アレルギー対応の開始、③給食費納入の変化と大変忙しい時期になるそうです。その業務を進めながら、子ども達の為に、いかに安全でおいしい給食を届

けるかを日々考えていただいている事がわかりました。

委員長の役の中で、多くの熱心で魅力的な各校役員の方、先生方と出会い、研修会等も通して、子ども達はたくさんの方々に守られていると実感できました。これからも地域全体で子ども達が安全にのびのびと育っていけるよう取り組み続けましょう。今年度の母親委員会の活動へのご協力ありがとうございました。

(母親委員長 大山 里佳)



## 令和元年度 北上市PTA連合会研修委員会の活動

### 令和元年度北上市PTA連合会研修大会

今年度の研修大会は2019年11月10日(日)ホテルシティプラザ北上にて、I.K.O市原アカデミー理事長(前京都サンガF.C.普及部長)の池上正氏を講師に迎え、「考える子どもに育てる11の魔法～伸ばしたいなら離れなさい～」と題し、ご講演を頂きました。池上さんは、これまでサッカーを通じ約50万人の子ども達を指導してきた経験をもとに、子ども達が指示待ちになっている現状を指摘しました。その原因の一つとして、「失敗させないで成功させる」命令や判断を家庭や学校などで行い、子どもの世話を焼きすぎて成長するチャンスが減っている事をあげました。



また、これからは詰め込んだ知識だけではなく、知識を使う力が求められる時代になる事を説明し、そのような変革時代を生きる子ども達に、一番必要な力は何か、それは「自分で考える力」を付ける事。その力を引き出すためには、まずは『叱らないこと』

叱る事により脳が固まり思考がストップする。次には『問いかけること』脳が働きだし考える。そして、その脳の回転を速くすることが重要と説きました。

大人が視点を変え、問いかけ、子ども自身が考えるベースを教えるだけで、子ども達は夢中になって動き出し成長します。そして、何のために勉強するのか? 「それは大人になった時に幸せになるために勉強する」と子ども達に伝え、私たちが見るべきものは「目の前の結果」ではなく、その子の「先の成長や未来」なのだと言われ、池上さんの講演で教えられました。



## 研究大会参加の報告

### 第67回日本PTA全国研究大会 兵庫大会

8月22～23日

第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会に参加。分科会会場は赤穂浪士で有名な地、兵庫県の播州赤穂。

分科会テーマは“地域連携”。会場に着くと出迎えて頂いたのは、赤穂浪士!?なんと地元PTAの保護者の方々が、赤穂浪士の衣装に着替え刀を携えてのお出迎え。分科会では太子高校の合唱部が被災地支援の活動を紹介されました。全体会はメンタリストDaiGoさんの「子育ては心理学で楽になる」。自分のコンプレックスを強みに変換する発想は、感心させられました。



### 第51回日本PTA東北ブロック研究大会

南陽・東置賜大会 9月7～8日

連日最高気温36℃の猛暑日の中、山形での東北ブロック大会に参加しました。大会主題「つなげよう 家庭・学校・地域を 親も成長しよう 子どもと共に」～ふるさとは国の本(もと)なり、育もう 地域の宝を～の中、6会場に分科会の研究内容と討議が行われました。

2日目の記念講演では『あふれる愛が子どもたちの未来をつくる』をテーマに「デヴィ夫人」の愛称で親しまれている、デヴィ・スカルノ氏が国際的な基盤・経験を活かした視点から、自身の子育てから現代社会で起きている様々な問題について語っておられました。普段TVで見るデヴィ夫人とは違い、淡々とした口調の中にも強い意志・メッセージが伝わってきたのが印象的でした。



# 会長あいさつ



北上市PTA連合会  
 会長 三田 雅崇  
 (鬼柳小学校PTA会長)

『命和元年 ～今日を作る大人と  
 未来を作る子どもたち～』

鬼柳小学校でPTA会長2年目となりました三田雅崇です。令和元年度、北上市PTA連合会会長を5月10日の総会で承認して頂き努めさせて頂いてます。

今年度の北上市PTA連合会としてのテーマを「子どもたちの命」と「大人たちが作る和」、そして令和元年ということ併せ『命和』を掲げました。昨今のニュースでも、子どもの命が犠牲になる事故や、いじめや引きこもり等もあり、私たち大人が本気で守らなければならないのが子どもたちの命からです。子どもたちが未来を生きるために、現在の私たちが協力して出来ること。過去のPTAの先輩たちが築いて来てくれた繋がりを、今より強固な「ONE TEAM」で取り組んで行きたいのです。

大人が本気で子どもたちと向き合い、危険と向き合い、未来と向き合うことで同じベクトルや熱量を共有できると信じております。

北上市は、とても素晴らしい地域であり、かつこ

いい大人が本気で向き合う姿を子どもたちに見せましょう。仕事に向き合う姿、地区活動に参加する姿、楽しんで笑顔を見せPTA活動に向き合っている姿等様々あります。そのシーン毎に大人が本気で向き合い、時に真剣に語り合ったり笑ったり怒ったり泣いたりそんな姿を子供たちが見るとどう感じるでしょう。これから成長していく子供たちが、個性豊かで思いやりを学んでいく時に、我々大人が「憧れる大人像」である事が必ず役に立つと思います。

私たちの大人としての責任は重いです。ですが子供たちの未来が今より良くなるのならば、今出来る事から始めましょう。

きっと昨日より今日、そして今日より明日が楽しくなる様にしていきたいと思います。

よろしくお願い致します。

## 令和元年度 北上市PTA連合会役員

- <会長> 三田 雅崇 (鬼柳小P会長)
- <副会長> 小林 裕 (立花小P副会長)
- 石積 拓也 (飯豊小P副会長)
- 小野寺 拓 (黒沢尻北小P会長)
- 北館理知子 (和賀西小P会長)
- 菊池 勝 (江釣子中P会長)
- <監事> 高津 恵 (二子小P副会長)
- 小原 英樹 (いわさき小P副会長)
- 伊藤 隆一 (北上中P副会長)
- <顧問> 齋藤 映香 (江釣子中)
- <事務局長> 八重樫深雪 (鬼柳小事務局担当)

## 令和元年度北上市PTA連合会広報委員会

- <委員長> 小林 裕 (立花小P副会長)
- <副委員長> 石積 拓也 (飯豊小P副会長)
- <委員> 吉田 祥次 (二子小P会長)
- 高橋 直樹 (黒岩小P会長)
- 高橋 竜一 (照岡小P会長)
- 菊池 隼 (江釣子小P会長)
- 小原 忍 (いわさき小P会長)
- 田山 理香 (北上中P会長)
- 平野 恵美 (東陵中P会長)
- 川邊 民弥 (北上北中P会長)
- 阿部 修二 (南中P会長)
- 高橋 憲一 (和賀東中P会長)
- <事務局> 小原 英己 (立花小P事務局)
- 下田 卓朗 (飯豊小P事務局)

## 編集後記

令和元年度の広報委員長、立花小学校PTAの小林裕です。編集後記とは言え、暦(カレンダー)も師走(12月)に替わったばかりで、何かと忙しくペンを動かしています。

はじめに、今年度の市P連会報41号の発行にあたり、子ども達・保護者・先生方・地域の方々にご協力いただきましたことに広報委員を代表して感謝お礼申し上げます。今年度を振り返ると年号が平成から令和に変わりました。消費税が10%に変わりました。息子が私の身長を越えました。皆さんの生活の中で何か変化はありましたか。今回の会報の特集では、「交通安全」・子ども達の命をテーマに取り組みました。痛ましい事故・事件が連日のように起きている現実の中で、全く無くなる事はないけれど、未然に防ぐ努力は出来ると思います。今一度「令和」という新しい時代に、「命和」(いのちの和)についてみんなで考えてみませんか? 最近ラジオCMで、「ご安全に」と言う言葉を耳にしました。普段の生活で使っていたようでない言葉にある意味新鮮さを感じました。これからは「ご安全に」の気持ちをみんなで共有して、感謝の気持ちを忘れない、笑顔あふれる明るい未来になってほしいものです。最後に、私の初めての市P連での活動に際して、顧問・役員・理事の方々をはじめ事務局の方々に感謝いたします。ありがとうございました。